



令和2年(2020年)  
1/1  
第1503号

# 市報 こだいら

迎春



ふるべー



1月11日(土) 消防団出初式……………2面  
地域防災フォーラム  
自分と大切な人を守るための防災……6面  
こだいらちょっとむかし……………8面



## 新たな夢へ 駆け抜ける

今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の年です。大会出場を目指して活躍している選手の中には、小平市出身や小平ゆかりの選手もいます。写真は、オリンピックの種目にもなっているトライアスロンの大会で競技をしている小平市出身の小田倉真選手です。

© Satoshi TAKASAKI/JTU



## 年頭にあなたって

明けましておめでとうございませう。日頃から小平市議会に対して温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚く御礼申し上げます。昨年は新しい令和の時代を迎えました。日本人のノーベル化学賞の受賞をはじめ、ラグビーワールドカップでは日本代表がベスト8に進むなど明るい話題がありました。

一方で、台風などによる豪雨災害が相次ぎ、各地に甚大な被害が発生しました。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からお見舞い申し上げます。自然災害の増加に備えて、市議会も参集訓練を実施するとともに、



市議会議長  
磯山 亮

市議会におきましては、昨年4月の市議会議員選挙により、10人の新議員を迎えました。新たな体制の中、議会基

新年明けましておめでとうございませう。昨年は厳しい寒波、猛暑、さらに台風19号による豪雨災害と改めて自然の恐ろしさを見せつけられました。その原因は多くの識者が気候変動によるものと述べています。日本列島には温泉郷や急しゅんな地形を流れる河川が織り成す絶景など、風光明媚な自然環境の恩恵があります。反面、時には自然の怖さも教えられます。

さて、今年には十二支の始まりの子年です。また2020年と、心新たに出発するにはこの上ない年です。加えて7月には56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。この平和の祭典を、市



市長  
小林 正則

イエティ5・0時代に向けた国を挙げての取組に、市としても対応していく必要があります。市として令和3年度から12年間の方向性を示す(仮称)第四次長期総合計画が始まります。これまでの課題を整理し、今後の取組方針を大局的、総合的に盛り込みたいと考えています。その中心課題は、少子高齢化に対応したまちづくりと、デジタル革新に合わせた行政改革で、大胆な行政サービスの革新に取り組みなければなりません。ハード面では小・中学校をはじめとした百80余りの公共施設の更新と合わせた再編と統合です。それらは市制施行百年を見据え、その時代に耐えられるまちづくりを進めるための歴史的な大事業です。次世代に対する現役世代の最大の責務です。今年も、こびず、おもねらず、諦めず、前へ前への精神で頑張ります。引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。